

車種別環境情報 フォレスター

	車種		フォレスター				
	グレード		Touring、Premium、X-BREAK		Advance		
基礎情報	車両型式		5BA-SK9		5AA-SKE		
	エンジン	エンジン型式	FB25		FB20		
		総排気量 (L)	2.498		1.995		
		種類	水平対向4気筒 2.5L DOHC16V デュアルAVCS		水平対向4気筒 2.0L DOHC16V デュアルAVCS + モータ		
		使用燃料	レギュラーガソリン		レギュラーガソリン		
		最高出力 [ネット] [kW (PS)/rpm]	136 (184) /5800		107 (145) /6000		
	最大トルク [ネット] [N・m (kg・m)/rpm]	239 /4400		188 /4000			
	駆動装置	駆動方式	AWD				
		変速機	CVT				
	車両重量 (kg)			1520	1540	1640	1660
環境性能情報	燃料消費率	JCO8モード	燃費値 (km/L)*	14.6	14.4	18.6	18.6
			CO2排出量 (g/km)	159	161	125	125
			平成27年度燃費基準達成レベル	燃費基準達成	燃費基準+5%達成	燃費基準+20%達成	燃費基準+20%達成
			平成32年度燃費基準達成レベル	-	-	燃費基準+10%達成	燃費基準+20%達成
		WLTCモード	燃費値 (km/L)*	市街地モード	13.2		14.0
	郊外モード			14.6		14.2	
	高速道路モード			16.4		16.0	
			CO2排出量 (g/km)	176		166	
	排出ガス	適合規制		平成30年規制			
		試験モード		WLTC			
		低排出ガス車認定レベル		平成30年基準50%低減 (☆☆☆☆)			
		基準値 (g/km)		CO	1.15		
			NMHC	0.05			
	NOx		0.025				
参考	グリーン購入法適合			○			
	エコカー減税対象車			◎			
	グリーン税制対象車			◎			
	九都県市低公害車指定			H30優低公害車(低炭素)*3			
騒音	適合規制		平成28年規制				
	加速騒音規制値 (dBA)		72				
エアコン冷媒の種類(GWP値注1)、使用量		代替フロンHFC134a(1430注2)、425g					
車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)					
環境負荷物質削減		鉛*1	自工会2006年目標達成(1996年時点の1/10以下)				
		水銀*2	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止)				
		六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)				
		カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)				
自工会目標適用除外部品		*1: 鉛バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *2: ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンパネーションメーター、HIDヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)					
環境への取り組み	リサイクル	リサイクルし易い材料の使用	バンパー、インパネ、ドアトリム等にリサイクルし易い熱可塑性樹脂を多用				
		再生材の使用	一部の樹脂部品に市場回収リサイクル材を、防振音材に衣類縫製端材・古紙を再利用				
		材質表示	100g以上の樹脂部品、200g以上のゴム部品に材質表示				
		解体性を考慮した設計	リヤゲートの取り外し容易化、バンパーの材質を取り外し前に確認できる位置に表示				
	環境負荷物質使用状況等		鉛	使用部品:電子基板、電気部品のはんだ、圧電素子(PZTセンサー)等			
		水銀	全廃済み				
		六価クロム	全廃済み				
		カドミウム	全廃済み				

*: 国土交通省審査値。____付の燃費値は、インテリジェントモード時の数値。 *3: H30.10.1以降に認定予定 (2018年7月更新)

■CO2排出量は燃費からの換算値 ■燃料消費率は気象、道路における交通の混雑の状態、運転方法、習慣、整備状況およびその他の状況に応じて異なります。

■WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは信号や渋滞等の影響をあまり受けにくい走行を想定、高速道路モードは高速道路等での走行を想定しています。

注1 GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数)

注2 改正フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150 以下(乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められています。